

事業所名

アルエット

支援プログラム (参考様式)

作成日

2024 年

4 月

1 日

法人 (事業所) 理念		事業所理念 1. 人として当たり前な生活が送れるよう支援を行ないます 2. 誰かの支援を受けながらも可能な限り自立的、主体的な生活が送れるよう支援を行ないます 3. 単に支援を受ける存在ではなく誰かの支えになれるような存在となれるよう支援を行ないます 4. 遊びや学びを中心に、いつまでも存在感の味わえる生活が送れるよう支援を行ないます							
支援方針		療育方針 ①発達支援…お子様の自立心や主体性を尊重し、一人ひとりにあった療育を行っていきます。 ②家族支援…コミュニケーションを大切に、育児や発達へのサポートを行っていきます。 ③地域支援…可能な限り地域活動への参加を果たしていきます。							
営業時間		11 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○毎日バイタルチェックを実施し、ひとりひとりの健康状態を把握しております。 ○快適な生活を維持できるよう身体介助の徹底をおこないます (観察・体調面の管理・身辺の介助など)。							
	運動・感覚	○身体のマッサージやストレッチを取り入れて、身体機能の維持に取り組みます。 ○遊びを通して体の感覚に働きかけ、多くの経験を提供します。 ○障がいを個性ととらえ、一人一人の状態と場面にに応じて、子どもの安楽な状態を確保しながら、快適に意欲的になれるように支援します。 ○感覚過敏、または感覚鈍麻など感覚の偏りに対して、環境調整など考慮し支援します。							
	認知・行動	○子どもが1日の流れに見通しを立てられるよう、絵や言葉で伝える工夫をします。 ○季節の変化への興味や、身近なものへの興味が深まるよう、季節の音楽や食べもの、室内の飾りや外出 (散歩) などを取り入れます。 ○視覚、聴覚、触覚の感覚を活用したり、認知機能発達のための療育道具や玩具等、よりよいものを取り入れていきます。							
	言語 コミュニケーション	○あいさつや会話など、円滑なコミュニケーションを行う事ができるよう支援します。 ○絵カード、ジェスチャー、手話表現など、子どもの状況に合わせたコミュニケーションの方法をとる。表情、態度の変化をよく観察しながら、「伝わった」という気持ちを繰り返し体験して、「伝える・伝わる」喜びを育みます。 ○場面ごとに適切に表現できるよう、学校やご家族とも連携し、熟考しながら成長を促せるよう支援します。							
	人間関係 社会性	○気持ちの良い相互の意思の伝達を個々に形成すると同時に、子ども同士のやり取りの中でも適切に表現できるよう支援します。 ○地域の社会資源を活用して、ルールやマナーに関する知識を養います。							
家族支援		○悩み等に対する相談を行うこと ○家庭内での養育とリンクできるよう支援内容の共有を行うこと ○保護者の時間を保障するために必要な支援を行うこと			移行支援		○ご家族のニーズを正確に把握すること ○移行先で早期に安定した生活が送れるよう必要な情報を提供する ○移行後も定期的にフォローアップを行なう		
地域支援・地域連携		○チームアプローチを進める為他関係機関との連携を密に行う ○ニーズに応じたサービス提供を行なう為関係機関等との連携に努める ○地域で自立した生活が送れるよう地域の関係機関と連携を図る			職員の質の向上		○年間研修計画に基づき専門職・組織人としてのスキルを身につけます ○療育の現状や最適な支援方法を身につける為外部の研修に参加します ○メンタルフォローや業務の躓きに気づきを得て解決につなげます。		
主な行事等									